

■ アルフォンス・ミュシャ没後 80 年企画 第2弾 ■

「生き続けるミュシャ in 堺」を開催

～堺市と関西大学の地域連携事業による展示イベント～

【日 時】 11月30日(土)、12月1日(日)10:00～17:00 【場 所】 堺市立文化館 3階ギャラリー

関西大学総合情報学部 AMD プロジェクトは、堺市との連携事業の一環として堺 アルフォンス・ミュシャ館と連携し、アール・ヌーヴォーの代表的画家であるアルフォンス・ミュシャの作品をデジタル展示で紹介するイベントを、11月30日(土)および12月1日(日)に堺市立文化館にて開催します。

なお本イベントは、在堺チェコ共和国名誉領事館ならびにNPO法人 関西堺・チェコ国際交流協会の協力を得て開催するものです。

本件の
ポイント

- ・最新の表現技術を駆使したデジタル展示で時代を越えて生き続けるミュシャ作品の魅力を紹介
- ・総合情報学部の5つのゼミの学生たちがそれぞれの専門性と学びの成果を活かして作品を制作
- ・堺 アルフォンス・ミュシャ館と連携し、ミュシャ作品の高精細デジタル画像を活用した展示

第2弾となる今回は、グランフロント大阪での展示イベント「生き続けるミュシャ」(10月26～27日開催)で好評を博したミュシャ作品のプロジェクション・アート、大型絵画《スラヴ叙事詩》のスケール感を体験できるバーチャルミュージアムに加えて、装飾図案を用いたデザイン体験、作品モデルの3Dプリンタ出力、装飾パネル内のシーンを仮想空間で体感する展示、AI技術で顔写真を作品に写し込む画像合成など多彩なデジタル展示でミュシャ作品の魅力を紹介します。会場となる堺市立文化館の堺アルフォンス・ミュシャ館(観覧料が必要)では、企画展「世紀末のパリ ミュシャとポスター」が開催され(2020年3月1日まで)、実際のミュシャ作品をご覧いただくことができます。

つきましては、ご多忙の折恐縮ですが、周知・取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

<展示イベント「生き続けるミュシャ in 堺」概要>

- 【開催日時】 11月30日(土)、12月1日(日) 両日とも10:00～17:00(入場は16:30まで)
- 【場 所】 堺市立文化館ギャラリー(3階、もず・やなぎ)
JR 阪和線「堺市」駅下車 徒歩3分(ベルマーージュ堺3階)
- 【展示概要】 最新の表現技術を駆使した多彩なデジタル展示(次頁に参考画像を掲載)
○ミュシャ装飾図案マッピング体験 ○作品モデルの3Dプリンタ出力
○AI技術による顔写真とミュシャ作品の画像合成 ○バーチャルミュージアム
○プロジェクション・アート など
- 【対 象】 どなたでも可 【入館料】 無 料
- 【主 催】 関西大学総合情報学部 AMD プロジェクト
- 【共 催】 堺 アルフォンス・ミュシャ館
- 【協 力】 在堺チェコ共和国名誉領事館、特定非営利活動法人 関西堺・チェコ国際交流協会

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：寺崎、浦田

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-0201 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

■ アルフォンス・ミュシャ没後 80 年企画 第2弾 「生き続けるミュシャ in 堺」

【展示コンテンツ (一部)】



ミュシャ・プロジェクションアート
(ミュシャのポスター作品をモチーフにした映像)



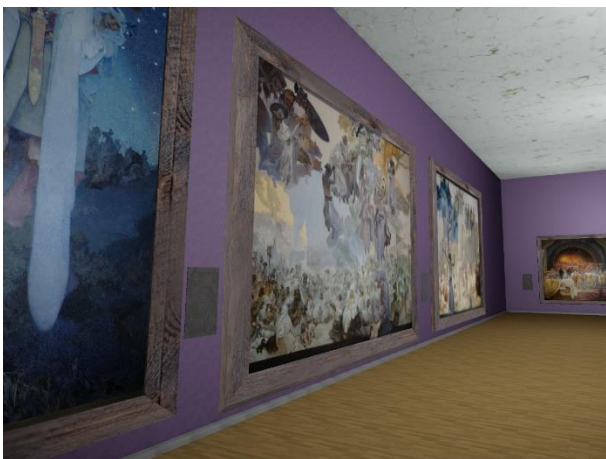
ミュシャ装飾図案マッピング体験
(好みの図案をコントローラで投影し自由に配置)



作品モデルの3Dプリンタ出力
(作品内のモデルをデフォルメして立体化)



顔写真とミュシャ作品の画像合成
(顔写真の色合いをAI技術でミュシャ風にアレンジ)



バーチャルミュージアム
(連作《スラヴ叙事詩》のスケール感を体験)



堺 アルフォンス・ミュシャ館 所蔵品検索アプリ
(堺市所有のミュシャ作品 約500点を検索可能)

■ 参考情報

◆ 関西大学総合情報学部 AMD (Art×Media×Design) プロジェクト

関西大学総合情報学部において、メディアアート、情報可視化技術、ヒューマンインタフェース、情報デザイン等を専門的に研究する教員有志と各研究室学生による取り組み。映像コンテンツ・メディアアート作品展示を通して地域の魅力発信に寄与することを目指す。これまでに、堺市との地域連携事業の一環として、江戸初期の古民家（堺市立町家歴史館 山口家住宅）において地域の歴史・文化をテーマとした企画展（2015年3月、2016年3月）を開催。また、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、大阪府立近つ飛鳥博物館、堺市博物館と連携し、百舌鳥・古市古墳群の魅力発信の展示イベント（2016年8月、2017年7月、2018年1月）を開催してきた。

◆ 堺 アルフォンス・ミュシャ館

堺市は、株式会社ドイの創業者 故土居君雄氏（1926-1990）が収集した約500点にのぼるアルフォンス・ミュシャの作品を所蔵。土居氏はミュシャの実息ジリ・ミュシャ（イジー・ムハ）氏との公私にわたる親交によって、ミュシャの祖国（現チェコ共和国）では観ることができない大型の油彩画や下絵など、貴重な作品を加えた厚みあるコレクション形成に尽力し、1989年にチェコスロヴァキア文化功労最高勲章を授与された。氏の没後、コレクションは堺市に寄贈され、1994年よりポルタス堺アルフォンス・ミュシャ・ギャラリーにて、2000年より堺市立文化館アルフォンス・ミュシャ館にて展示公開されている。〔HP: [https:// mucha.sakai-bunshin.com/](https://mucha.sakai-bunshin.com/) 〕

以 上